

# 製品安全データシート

製品名：Red-I

作成：2015年8月3日

## 1. 製品及び会社情報

製品名：Red-I

製品コード：2370・2371

MSDS整理番号：237000001

会社名：旭エンジニアリング株式会社

住所：〒553-0002 大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部門：管理部

電話番号：06-6452-5811

FAX番号：06-6452-5770

緊急連絡先：旭エンジニアリング株式会社・営業部、管理部

緊急連絡電話番号：06-6452-5811

## 2. 危険有害性情報

GHS分類

健康に対する有害性 急性毒性（経口）区分3

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）区分3

皮膚腐食性／刺激性 区分1B、2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1、2B

発がん性 区分1A

特定標的臓器毒性（単回暴露）区分1（吸入：呼吸器系）

特定標的臓器毒性（反復暴露）

GHSシンボル：



注意喚起語 警告 危険

警告

H315: 皮膚刺激

H320: 眼刺激

危険有害性情報

H301: 飲み込むと有毒

H314: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318: 重篤な眼の損傷

H331: 吸入すると有毒

H350: 発がんのおそれ

H370: 臓器の障害（吸入：呼吸器系）

H372: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害（吸入：呼吸器系）

H373: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（経口：肝臓、造血系）

PBT,vPvBに指定された成分は不含有。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

- 成分/含有量：水素処理重ナフテン系石油留分 / ‘<90%’  
CAS 番号：64742-52-5  
化審法：－（特定できず）  
PRTR 法：－（特定できず）  
安衛法：政令第 18 条の 2 別表第 9 の 168  
EINECS：265-155-0
- 成分/含有量：水素処理石油留分 / ‘<20%’  
CAS 番号：64742-57-0  
化審法：9-1689  
PRTR 法：－（特定できず）  
安衛法：－（特定できず）  
EINECS：265-160-8
- 成分/含有量：水酸基を含有する飽和脂肪酸 / ‘<10%’  
CAS 番号：－（特定できず）  
化審法：7-977,8-338  
PRTR 法：－（特定できず）  
安衛法：－（特定できず）  
EINECS：－（特定できず）
- 成分/含有量：ジペンチルジチオカルバミン酸アンチモン / ‘<5%’  
CAS 番号：15890-25-2  
化審法：2-2889  
PRTR 法：政令第 1 条第 1 項第 7 号  
安衛法：政令第 18 条の 2 別表第 9 の 38  
EINECS：240-028-2
- 成分/含有量：1,8-オクタノージーカルボン酸 [別名：セバシン酸] / ‘<3%’  
CAS 番号：111-20-6  
化審法：2-878  
PRTR 法：－（特定できず）  
安衛法：－（特定できず）  
EINECS：203-845-5
- 成分/含有量：水酸化リチウム一水和物 / ‘<3%’  
CAS 番号：1310-66-3  
化審法：－（特定できず）  
PRTR 法：－（特定できず）  
安衛法：政令第 18 条の 2 別表第 9 の 320  
EINECS：203-845-5

### 4. 応急措置

基本措置：具合が悪い場合、また症状が悪化した場合、必ず医師の手当てを受ける意識がない場合、口から何も与えてはならない。

吸入した場合	患者を空気の新鮮な場所に移し、更に吸入しないようにする。もし呼吸が停止した場合、人工呼吸を行う。もし呼吸が困難の場合、酸素吸入を行う。もし意識がない場合、すぐに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で、直ちに触れた部分を洗い流す。付着した衣服や靴は脱ぐ。もし皮膚に炎症が生じた場合は医師の手当てを受ける。再度その衣服を着用する場合は事前に洗濯をしてから使用すること。
目に入った場合	直ちに大量の流水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを入れている場合は直ちに外し、続けて洗眼する。また速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	吐き出させてはならない。直ちに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤 二酸化炭素、ドライケミカル、若しくは泡の消火剤が有効である。

物質または混合物から発生する特別な危険性

危険な分解製品：一酸化炭素、二酸化炭素を形成。

消火時の推奨される服装（消防士）

酸素補給装置付のマスクの着用。

\* 自給式呼吸器の使用をお勧めします。水の使用は冷却効果があるが、水による消火は、延焼を引き起こす恐れがあるので、周囲の建物等の冷却のみに使用すること。

## 6. 漏洩時の措置

- ・ 漏洩した原料に触れない。
- ・ 適した保護具を着用する。
- ・ 漏洩が限られた場所、もしくは空気の通りが悪い場所の場合、換気を行う。
- ・ 安全な場所に移動する。
- ・ 関係者以外は立ち入り禁止とする。
- ・ 配水管、下水道や水路への流出を防ぐ。
- ・ 漏洩についての報告を、基準に基づいて、適用される規則に従って、適切な機関に提出する。
- ・ 換気をよくし、蒸気を吸入しないようにする。
- ・ 保護具等を使用する。
- ・ 流出物を不燃性材料（例えば砂、土、バーミキュライト）で含んで、吸い取る。☑
- ・ 吸い取ったものは容器に入れて密閉し、その地域の廃物の規則に準じて処理を行う。
- ・ 取り除いた後は、洗剤で洗浄する。溶媒はしない。
- ・ 排水管、下水道、川、小川若しくは湖に流出し汚染したら、すぐに地元の水道会社に報告をする。また環境保護の機関にも連絡をする。
- ・ 廃棄時は必ずその地域若しくは市町村の環境規則に基づいて処理をする。

## 7. 取扱い及び貯蔵上の注意

取扱い

- ・ 皮膚・眼への接触を避ける。
- ・ 取扱い後よく洗う。
- ・ 吸入を避ける。
- ・ 適切な換気をする。
- ・ 製品の品質維持のため容器は高温・直射日光を避け、冷暗所に密閉して適温、換気の良く、湿気のない室内にて貯蔵する。
- ・ 高温物、スパーク、火災を避け、容器は密封し、元々のラベルや表示がわかるようにしておく。

- ・ 強酸化剤との接触を避ける。
- ・ 容器が空であったとしても、ドラムの上でカッティングや溶接トーチを使用しないでください。
- ・ 容器は再利用しない。
- ・ 容器は空であったとしても、製品は残存しており蒸気があるため、常に容器には製品が充填してあると考え、危険品として取扱う。
- ・ 子供の手の届くところに置かない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

CAS	情報源	管理濃度
111-20-6	OSHA	規程なし
	ACGIH	規程なし
	NIOSH	規程なし
1310-66-3	OSHA	規程なし
	ACGIH	規程なし
	NIOSH	規程なし
15890-25-2	OSHA	規程なし
	ACGIH	規程なし
	NIOSH	規程なし
64742-52-5	OSHA	規程なし
	ACGIH	規程なし
	NIOSH	規程なし
64742-57-0	OSHA	規程なし
	ACGIH	規程なし
	NIOSH	規程なし
水酸基を含有する飽和脂肪酸	OSHA	規程なし
	ACGIH	規程なし
	NIOSH	規程なし

鉛物油を含む。許容濃度は鉛油ミストとして、5mg/ m<sup>3</sup> OSHA PEL/ 10mg/ m<sup>3</sup> ACGIH

## 発癌性

CAS	情報源	発癌性の有無
111-20-6	OSHA	なし
	IARC	グループ1：なし、グループ2A：なし、グループ2B：なし、グループ3：なし、グループ4：なし
1310-66-3	OSHA	なし
	IARC	グループ1：なし、グループ2A：なし、グループ2B：なし、グループ3：なし、グループ4：なし
15890-25-2	OSHA	なし
	IARC	グループ1：なし、グループ2A：なし、グループ2B：なし、グループ3：なし、グループ4：なし
64742-52-5	OSHA	なし
	IARC	グループ1：なし、グループ2A：なし、グループ2B：なし、グループ3：なし、グループ4：なし
64742-57-0	OSHA	なし
	IARC	グループ1：なし、グループ2A：なし、グループ2B：なし、グループ3：なし、グループ4：なし
水酸基を含有する飽和脂肪酸	OSHA	なし
	IARC	グループ1：なし、グループ2A：なし、グループ2B：なし、グループ3：なし、グループ4：なし

**設備対策** 取扱いの近くには高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。また、取扱い場所付近に安全シャワー、洗眼、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。

**保護具**

手の保護具 耐油性保護手袋

眼の保護具 ケミカルゴーグル（液の飛散があるときは、さらに顔面覆いの防災面を着用）

皮膚及び身体の保護具 長時間に渡り、取り扱う場合、またはオイルに濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を使用する。靴はネオプレンかニトリルゴム製のブーツを装着する。

濃度の高い蒸気が発生した場合、NIOSH/OSHA が認定している防毒マスクを使用すること。

## 9. 物理／化学的性質

外 観	赤色グリース
臭 気	石油臭
臭気閾値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸 点	>300℃
引火点	>200℃
蒸発範囲（H20=1）	データなし
可燃性（固体・ガス）	非該当 not applicable
高／低引火性もしくは爆発限界	
下限爆発範囲：データなし	
上限爆発範囲：データなし	
蒸気圧	データなし

蒸気密度 (Air=1)	空気より重い
比重	0.9309
水溶解	不溶
n-オクタール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度 (cSt)	
@100℃	測定なし
@40℃	測定なし
滴点	データなし
揮発性有機化合物	なし
SADT	データなし

その他 DMSO は IP346 によって抽出：3.0%以下（鉱物油成分のみ対象）

この項のデータはこの製品の物理的・化学的に標準的な値であり、製品規格ではない。

#### 10. 安全性及び反応性

安全性 通常の温度での条件では安定。

避けるべき条件 高温、熱、火気厳禁。引火点より上昇させてはならない。

避けるべき物質 強酸化性物質避ける。

分解 分解により、二酸化炭素、一酸化炭素を発生させ酸欠状態を起こす場合がある。

#### 11. 有害性情報

##### 急性毒性

CAS	経口 LD50,mg/kg	経皮 LD50,mg/kg	吸入 LD50,mg/L/4hr
15890-25-2	データなし	データなし	データなし
111-20-6	>5,000 ラット	>6,000 ラビット	データなし
64742-52-5	>5,000 ラット	>5,000 ラビット	データなし
水酸基を含有する飽和脂肪酸	データなし	データなし	データなし
1310-66-3	データなし	データなし	データなし
64742-57-0	データなし	データなし	データなし

区分	分類	危険性
急性毒性（経口）	区分外	非該当
急性毒性（経皮）	区分外	非該当
急性毒性（吸引）	区分外	非該当
皮膚刺激性	区分2	皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷／刺激性	区分外	非該当
呼吸器感作性	区分外	非該当
皮膚感作性	区分外	非該当
生殖細胞変異原性	区分外	非該当
発癌性	区分外	非該当
生殖毒性	区分外	非該当
特定標的臓器全身毒性／単回暴露	区分外	非該当
特定標的臓器全身毒性／反復暴露	区分外	非該当
吸引性呼吸器有害性	区分外	非該当

## 1 2. 環境影響情報

この製品の調査は 1999/45/EC Dangerous Preparations Directive に基づいており、環境に危険とされる区分はされていない。

### 水生の生態毒性

CAS	96hr LC50 魚 mg/l	48hr EC50 甲殻類 mg/l	ErC50 藻類 mg/l
64742-52-5	5,000 ニジマス	1,000 オオミジンコ	1,000（96 時間） scenedesmus subspicatus
64742-57-0	データなし	データなし	データなし
水酸基を含有する飽和脂肪酸	データなし	データなし	データなし
15890-25-2	データなし	データなし	データなし
111-20-6	データなし	データなし	データなし
1310-66-3	データなし	データなし	データなし

残留性／分解性 データなし

生体蓄積性 測定なし

土壌中の移動性 データなし

PBT、vPvB 分析結果 この製品には PBT、vPvB の化学成分は不含有

その他の有害影響 データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

・事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、若しくは、地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

・投棄禁止

・埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃殻については廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

- ・ 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ燃焼または爆発によって他に危害／損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、必ず現場監督を置くこと。
- ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分すること。
- ・ 溶媒または別の化学製品で使用したオイルを汚染しないこと。

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際規制

国連番号：分類基準に該当なし

国連輸送品名：該当なし

輸送等級 USDOT ラベル：規定なし

ADR/RID：規定なし

IMDG：規定なし

Sub Class：非該当

梱包：非該当

環境への危険性 ADR/RID：環境への危険性なし、規定なし

IMDG：海上汚染なし、規定なし

MARPOL73/78 と IBC コードの Annex II による大量輸送：非該当

##### 注意事項

- ・ 堅牢で容易に変形しない容器に入れ、漏れないことを確かめ、輸送。
- ・ 運搬に際しては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・ その他、消防法に定めるところに従う。

#### 1 5. 適用法令

- ・ 消防法 非該当

#### 1 6. その他の情報

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDSの中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はMSDS記載内容について充分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。